

6月も中旬に入りました。依然として十勝帯広の新型コロナウイルスの感染状況は収束する兆しが見えません（このところ全国・全道の感染状況は減少傾向にあります）。こうした中、本校では感染症予防対策をとりながらゲストティーチャーをお招きし、専門家の方々の視点から子ども達に向き合っていたでき、多くのことを学んでいます。今号では、4月からこれまでに本校に来校いただき、子ども達に向き合っていたいただいた方々を紹介しながらその様子をお伝えします。

本物から学ぶ ～ ゲストティーチャーから多くのことを学んでいます ～
 「わからないことがわかるようになった」「できなかったことができるようになった」を実感する！！

音楽の世界に魅了されました ～ 子供のための文化芸術鑑賞を終えて ～



「美しき青きドナウ」が体育館いっぱいに響きわたると鑑賞会ははじまりました。

6月8日（水）に東京サロンシンフォニーオーケストラ・キャラバン隊（総勢14名）をお迎えした音楽コンサートの一コマ。『キャラバン隊』とは、指揮者司会のもと子ども達が近い位置で楽器に触れ、音楽を身近に感じることができるよう編成されたプログラムのこと。

コロナ禍のため、3・4校時を低学年が、5・6校時を高学年が鑑賞しました。I部はレクチャー&ワークショップを主に、II部はクラシックコンサートを主に構成されました。

オープニングの演奏 「美しき青きドナウ」より



大きな拍手を贈る子ども達



演奏・指揮者体験コーナーより



テノール歌手による校歌独唱

バイオリン・マリンバなどの楽器を演奏したり、指揮者になってタクトを振ったりしました。タクトを振る人によって音色の速度・変化が見られました。

1時間30分という時間に、子ども達が心と体で感じたものは大きかったようです。子ども達が目を輝かせ、真剣に耳を傾けていたことがこのことを物語っているように感じました。本物を間近で、見て、聴いて、感じる。今回、このように素敵なプレゼントをいただいた東京サロンシンフォニーオーケストラ・キャラバン隊の皆様へ感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

* 裏面に続く

租税教室を開催 ～税金は社会共通の費用をまかなう会費～ 5月18日(水)



小学生向けの租税教室は納税の義務や税金の種類にあまりこだわらずに、豊かで安心した暮らしを実現するために、税金がどのようなものに使われているかといった役割や、必要性を主として扱います。

このことを踏まえ、本校では6年生を対象に毎年開催しています。今年度は、帯広税務署広報広聴官(写真左)にお越しいただきました。45分の時間を使って、税金のあらましやDVD(税金のない世界～アナザーワールド～)の視聴、クイズを通して税金の知識や理解を深めていました。今年4月より成人年齢が満18歳に引き下げられました。このような視点からも今後ますます租税教室等の必要性は高まっています。



みんなで1億円のサンプルを持ちました

薬物乱用防止教室 ～生きるとは夢を叶え続けること～ 5月19日(木)実施



熱い思いを込めてお話しされた講師の長原和宣さん



5月19日(木)、帯広市内の運送業「ドリームジャパン」の長原和宣代表を講師にお招きし、「薬物乱用防止教室」を行いました。長原さんは、ご自身のこれまでの経験を振り返って、「すべて自分の心の弱さ。悪いことや嫌なことを断

れない人間だった」「しっかり意思表示ができる大人になってほしい」と願いを込めて話されました。

また、薬物中毒者への対応については「近寄らずに離れて。自分に近い人が中毒者になってしまっ

た場合は警察に保護してもらおうという選択を」とも話されました。

お話の最後に長原さんは、子ども達に「生ある限り自分を成長させ夢を叶え続けていくことが大切。変えていけるのは自分と未来。そして、すべてのことに感謝すること。ありがとうは魔法の言葉なので、みんなを幸せにしてくれる。心から、ありがとうと言える人になって」と熱いメッセージをいただきました。長原さんのお話に何度も何度もうなずきながら聴く子ども達の様子から、長原さんの思いは伝わっていると感じました。お忙しい中、子ども達に向き合っていたいただきありがとうございます。

おしらせ

今号のタイトルは、「蠮螋生(とうろうしょうず)」(七十二候のうちの一つです)。蠮螋(とうろう)とは、かまきりのことで、秋に生みつけられた卵から、

200匹ほどの小さな命が誕生します。そのうち成虫になれるのは、わずか2~3匹だそうです。

かまきりは害虫から農作物を守ってくれるので、農家にとってはとてもありがたい存在でした。

一見、強面でもいろいろな場面で力を発揮しているんですね。

本校では毎年、研究主題（テーマ）を設定し、子ども達の確かな学力の向上・定着と私たち教員の授業力の向上をねらいとした校内研修を全教員で行っています。これまでの成果と課題を生かし、今年度の研究テーマを上記のように設定しています（2年次計画の2年目です）。前年度の研究では、「ノートづくりの定着」、「対話の充実」などの成果をあげることができたほか、「話し合い・振り返り」の充実に向け、「ペア交流」や「グループ交流」を意図的、計画的に取り入れ、わかりやすく伝える表現力を育てていくことを実践してきました。

その反面、「話を聞く力」や「理由を伝える力」、「要点を絞って書く力」などに課題があり、児童のアンケート結果からは、「知識・技能の定着」には一定の成果が見られるものの、「算数への興味関心」や「粘り強く取り組む気持ち」に課題があることも見えてきました。

このことを踏まえ、できるようになったことを伝え合い、振り返る活動を設けることで、学んだことをより深く、確実に定着できるようにしていきたいと考えています。

また、「ノートづくり」では、使用する教材教具（クロームブック使用時など）にあわせて形式を変えていくなど実態に即したものに変わっています。